

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



「商品開発」の授業での販売実習の様子



ファイナンシャル・プランナーの講演会の様子



生徒たちによる租税教室の様子



西大寺高等学校の校舎



岡山県立西大寺高等学校

さいだいじ

岡山県立西大寺高等学校のある西大寺地区は、「はだか祭り」で有名な「西大寺観音院」や「五福通り」で知られています。五福通りは、看板建築の商家が立ち並ぶ商店街で、昭和の面影を残しており、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」をはじめ、多くの映画やドラマのロケ地になっています。

創立115年の伝統を持つ本校は、2020年度から2年間、金融教育研究校の委嘱を受け、生徒が健全な金銭感覚を身に付け、主体的に行動することをめざし活動しています。

今年度は、商業科3年の「開放講座」の受講者6名が講師となり、岡山市立西大寺小学校で「租税教室」を行いました。事前に地元税務署職員の方々に協力いただき、生徒たちは租税教室を体験し税への知識を深めました。そのうえで、小学生に税の大切さや役割を伝えることで、将来仕事をするうえで必要な実行力・積極性・協調性・プレゼンテーション力・コミュニケーション力等を学ぶ機会になりました。

また、「商品開発」の授業では、地域イベント「漱石マルシェ」に出店し、本校オリジナル商品「いちごゆ」や「笹の葉せんべい」を販売し、原価計算の仕方やお金の役割を学ぶことができました。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外部での販売活動等も思うようにはできませんでしたが、販売実習の機会を与えていただき、地域連携の大切さやありがたさを実感しました。

このほか、ファイナンシャル・プランナーを講師としてお招きし、卒業を控えた商業科3年生を対象に、将来の人生設計や資金計画の大切さを学ぶ講演会を実施しました。生徒たちは、結婚や育児等の人生の節目を書き込んだ年表を作成し、自分の夢や目標をかなえるために必要となる費用や計画的な金銭管理の必要性を認識しました。

これからも、知識と実践を両立させながら、お金を大切にし、さまざまな分野で主体的に物事を考え活動できる生徒を育成していきたいと考えています。